

## 電子工学科設置 10 周年記念論文

電子工学科が本学工学部に設置されて十年の歳月がたった。大学教員は教育者であるとともに研究者でなければならず、学術の最先端の研究成果を教育に織りこんでいくことが理想である。しかし、学科創設時は初年度の一年次生から始まってつぎつぎに学生が増えてくる都合上、教育の方にどうしても重きを置かざるを得なかった。そのため研究に費やす時間が削減され、また研究設備の充実が遅れた。それでも教員各自の努力と互いの協力によって、また常日頃から研究を奨励される菊池学長や大学当局のおかげをもって、当学科の研究上の activity も年々向上してきた。さらに教育への努力の feedback として根気とねばりのある、実験や工作の好きなあるいは software 作成を得意とする卒業研究生の多くがわれわれの研究に寄与した。この度の電子工学科設置十周年を記念して、また今後の当学科の大学院設置実現に願いをこめて、電子回路、計算機工学、情報工学、電子物性、電子要素、通信工学、基礎電子工学、照明工学研究室の電子工学科全八研究室の研究成果の一部をここに論文として載せる次第である。

(電子工学科主任 青木 彪)